



地方選の争点は・・・上から目線、憲法九条・・・

地方自治体毎に固有の様々な問題がある。しかし、安倍政権与党の姿勢全体が今回の地方選で問われている。

上から目線

翁長沖縄県知事が指摘した自公安倍政権の上から目線を容認するかどうかも争点。菅氏は「普天間基地の危険除去」と云う。危険な飛行を停止すべき。危険な飛行機を首相官邸の上を飛ばすか？

米国も批准した一九〇七年のハーグ陸戦条約四六条は「占領地で私有財産を没収すること」を禁止。これに反して住民の家畑を接収して米軍基地とした。そこが危険だから別の基地を出せというのは強盗が「財布を返すから金出せ」と云う様な物。厚木基地の騒音問題も上から目線で良く

なるか？

憲法九条には

「国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」とある。米軍が攻撃されたら集団的自衛権と一緒に反撃するのは米国と相手国の国際紛争に武力を使うこと。これを「容認」できますか？

おかしな事ばかり

★横浜ではカジノが争点。賭博は法律で禁止されているのに、それを推進するのはどうか？★献金を貰った企業が「補助金を受けていることを知らなかった」と云えばOK？実質賄賂では？みなさんはどう思われますか？

龍宮小屋

尾瀬ヶ原

二〇一四年七月



例年より早く桜が咲き、既に葉が出始めた。そろそろ新緑の山に行きたい頃。尾瀬はどうだろうか？

私が初めて尾瀬に行ったのは一九七〇年代初頭。かれこれ四十年以上も昔だ。当時の山小屋には電話もなく予約は不可。追いついて野宿せよとも云えない。だから、やって来る登山客はすべて端から押し込め雑魚寝。頭と足を交互に寝なければならぬ事もあった。

それも今は昔。携帯電話が通じるので、予約は必須。グループ毎に部屋があてがわれる。予約なしで行って満室だったなら、泊めて貰えない。

龍宮小屋は尾瀬湿原の途中。至仏山側へ沈む夕陽、燧ヶ岳側から昇る朝陽の撮影を指すカメラマンのお客が多いとか。